

全日本サーフキャスティング連盟 大阪協会 4 月度理事会議事録

平成 22 年 4 月 28 日 (水) 午後 7 時～

於：大阪産業創造館 6 階会議室 E 出席クラブ 41 クラブ(欠席 1)

■池田協会長挨拶

先日行われた、クリーンアップ活動につきましては 97 名の参加があり、ありがとうございます。国土交通省からも、お礼の報告を頂いています、来年もまたよろしく願います。

・藤原副会長を議長として 19 時 05 分議事に入る。

第 1 号議案 全日本サーフキャスティング連盟本部役員会報告 (池田協会長)

(連盟議事録から転載)

日時：平成 22 年 4 月 7 日 (水) 16 時 04 分～18 時 06 分

場所：新大阪丸ビル新館 5 階 500 号会議室

■審議 1

SC 協会対抗戦 PT 愛媛協会

- ・PT 欠席のため大田事務局長より、協会別参加申し込みの一覧表が配布された。それによると参加総数 105 名。内訳は普通種目 9 チーム、ST 種目 15 チーム (A34 名・B26 名)、ポイント種目 3 チームであった。
- ・木村監査役より、対抗戦に 1 名の参加が見受けられるが可能なのかと質問があり、松井 SC 部長は現状では認めていると回答がある。
- ・松井 SC 部長より、対抗戦の賞品は従来通り参加総数の 20%であるとの説明に続き、会場草刈について 5 月 1 日 (土) に広島協会 SC 部が中心となっておこなっていただけると説明がある。
- ・競技用の錘について、先に富士工業さんより金型変更に伴い、形状を変更したとの連絡があった。連盟では現在使用している錘の在庫と併用して使用をするが、発音体のスプリングは新形状に合わせて少しカットしたほうがブザーの連続音解消になる。したがって対抗戦ではカットの有無は個々の判断で良いとした。尚、新たに発音体を発注するとき、スプリングは現在のものより短くしていただく。
- ・新形状の錘をホームページで紹介しているが、形状についてメーカーさんまで直接連絡している方がいると聞く。既に開発済みの製品と言うこともあり、メーカーさんは対応に苦慮している。今後は意見・要望については本部関係部署を通じてほしい。
- ・帷企画部長より、協会主催の大会では従来の錘使用は可能なのかと質問がある。
- ・松井 SC 部長の回答。連盟・協会とも現在の錘と新形状の錘を併用して使用することは結構です。ただし、連盟大会は在庫が無くなり次第、新形状の錘に切り替えます。

■審議 2

第 92 回全日本キス投げ釣り選手権大会 PT 長崎協会

- ・尾上章司全キス PT 責任者 (長崎協会事務局長) より、全国会場一覧表が配布され、今大会は 53 会場であったと報告された。尚、本日発表の会場は会場名のみであるが、審査・受付場所などの一覧表は 4 月中旬に協会長またはメール事務局まで送ります。(ホームページでも掲載する)
- ・今大会で初採用する「フラッシュメモリー」だが、協会用が PT まで返送された後、同じものを会場責任者用にして使用するので、協会返送期日の 5 月 27 日 (木) を厳守してください。尾上章司全日本キス PT 責任者アドレス trust21@mx.cncm.ne.jp

■審議 3

第 33 回東西選抜投げ釣り 100 人の会 PT 本部/中部協会

- ・大田事務局長より、3 月末に全ての関係先まで案内状を送付した。参加申込みの締め切りは 5 月末となっているので、よろしく願いたいと報告がある。
- ・木村中部協会長より、ホテルの駐車スペースについて本部側で把握しておいてほしいと要望が

ある。

- ・メーカーさん主催の競技会で優勝された方には 100 人会の案内状を出すと決まっていた件について確認質問がある。
- ・本部回答として先の案内に、上記対象者は含んでいないので、早急に調べて案内状を追加発送する。

■審議 4

内部連絡の徹底について 岩田連盟会長

- ・本部各部局間および本部と各協会間の連絡に対し、未回答が多いと聞く、各位ともお忙しいものと拝察いたしますが、未回答であっても組織の停滞はできません。そのような状況の運営では結果として一方通行になりがちです。そのような運営を防ぐためにも、今一度組織連絡の基本である「ハウレンソウ」すなわち報告・連絡・相談を徹底していただきたい。

■審議 5

各部局からの報・連・相

各部局

- ・宗貞事務局次長より、今期の登録（2 月末）状況をまとめた一覧表が配布された。それによると 2 月末現在の登録総数 3,237 名と報告がある。尚、6 協会に過入金があったが、これは新規・復帰登録者は初年度連盟会費が免除される件で勘違いされたものと思う。尚、過入金の返還は該当協会と本部事務局の間で確認・合意され次第、会計よりおこなう。
- ・釣り保険について連盟指定二社の代理店（東京海上→ミック/ジャパン→ほけん本舗）以外で、類似保険に加入しているクラブ（個人）は必ず加入していることの証明となる資料を事務局に提出してください。その場合、提出資料には協会名・クラブ名・会員名を記入しておいてください。尚、補償内容に捜索費用を含まない保険は釣り保険として認められません。
- ・大田事務局長より、平成 22 年度版「投げ釣り手帳」の余っている協会は返還願うと要請がある。
- ・岩田連盟会長より、全日本サーフ二代目連盟会長および前名誉会長であった小西和人氏の自伝『楽しみを釣る』の二次購入案内がある。単品の受付も了解するができれば 10 冊単位にして広報部までお申し込みください。尚、100 人会においてメーカーさんのおみやげとして使用する。
- ・木村監査役より、45 周年記念誌の発行期日について確認がある。
- ・伊達編集次長は 4 月中旬に各協会まで発送すると回答がある。
- ・野村会計部長より、入会手続きに際し、会費の納入書に一般・女性・少年・継続・復帰・新人の区別は記入しておいてほしいと要望がある。
- ・45 周年記念誌の代金は 2 月末の登録会費と同時に払い込むとなっているが（21 年 11 月・22 年 2 月議事録に記載）3 月末時点で 8 協会が未納だが協会部署間の連絡ミスによるものと思われるが該当協会は早急に納入願いたい。
- ・池田大阪協会長より、協会オープン大会（5 月 16 日）を故吉本克己前協会長の追悼大会として開催するが一般参加の行事でもあることから、追悼の表示はしない。また吉本家から、全日本サーフに寄贈された放流基金を原資にヒラメの稚魚を当日放流することに決定した。
- ・同じくクラブ対抗キス PT である池田大阪協会長より、大会要項について開催日以外は例年通りである。尚、開催日の 7 月 11 日が参議院選挙の投票日となることが予想されている。したがって投票日となった場合に備え、本部・受付・審査の代替場所を 5 月に京丹後市を訪問したおり確認する。
- ・伊達編集次長より、上記について編集締め切りの都合もあるので、本日配布の要項案を掲載すると報告がある。
- ・松井 SC 部長より、協会主催の行事における主催者賠償保険の申込書をホームページからダウンロードできるようにしてほしいと各協会から要望が届く。したがって要望通り、ホームページに掲載してほしい。

注)岩田連盟会長が保険会社に連絡したところ、本部・協会とも同一組織なので、協会主催であっても本部が過入している包括レク保険の主催者賠償保険が適用される。したがって協会加入は不要とのこと。但し、本部関係部署まで協会行事の開催届けと終了報告（釣りは広報部・SC は SC 部）をおこない、その後には保険料（実参加数のレク保険料を会計部まで）の支払いが必

須条件です。

- ・岩田連盟会長より、3 月 28 日に開催された台湾遠投運動協会主催 S C 大会の参加報告がある。先の 45 周年祝賀会出席の答礼を兼ね、松井 SC 部長・菅原北海道協会長・井森恵庭サーフ会長の 4 名で訪台した。台湾選手の SC レベルは全体として今後に期待されるものが多いが、種目によっては素晴らしい技術の選手も見られた。一方安全面ではまだまだ改善のすべき点が多く見られた。特に保険面などにおいて選手・主催者ともにカバーするような保険に加入することを勧めた。
- ・岩田連盟会長より、今回の訪台費用について松井 SC 部長の旅費を連盟から負担願いたい。通常連盟 SC 行事において全日本サーフ側の窓口は SC 部長が務めている。したがって先方から是非出席を願うと乞われていた事情もあり、連盟会長からも SC 部長に対し、訪台要請をおこなっていた。
- ・本部役員会は松井 SC 部長の訪台費用を連盟負担とすることに全員一致で了解を示した。尚、正式承認は 5 月常任理事会で受ける。
- ・蔦資材部長より、ライフジャケットについて資材部で、一通り各タイプの商品を在庫して注文に即応できるようにしたい。但し、ロゴは全日本サーフのものだけに限る。尚、協会ロゴを入れる場合は直接メーカーさんに鮮明な版下をメールにて送ってください。(郵送も可)
※高階救命器具(株) (担当・井関幸次氏) E メール koji_iseki@tlpc.co.jp
〒556-0028 大阪市浪速区久保吉 1 丁目 1 番 30 号 TEL 06-6568-3414
- ・蔦資材部長より、風雨に強い素材で、クーラーや車などに貼り付ける全日本サーフ仕様のワッペンを製作・販売するよう企画していると報告がある。
- ・池田大物システム担当委員より、以下のように大物システムのバージョンアップをおこなったと報告がある。
 - ①大物申請集計表は協会・クラブでもダウンロードできるようにした。
 - ②協会大物部で未着バッジは協会・クラブで整理できるようにした。
 - ③バッジラベルも協会でもダウンロードできるようにした。
 - ④新入会員の登録はアイコンラフトに依頼していたが連盟大物部でおこなえるようにした。
- ・上記以外に、移籍会員の協会記録について適正な処理がおこなえるよう改善することを検討している。
- ・宗貞事務局次長より、災害時における大物システムのバックアップ体制を今後の検討課題として審議する必要があると要望がある。
- ・大物ソフトの関連として会員番号の重複が見られる、各協会とも確認をおこない、重複する会員番号は適正に修正してください。
- ・会員番号の増大から大物データの無いものは抹消することもあり得る。したがって未申請の会員さんの中で抹消が困る方は協会大物部を通じて本部大物部まで申し出てください。

第 2 号議案 大阪協会春季大会結果報告及び表彰 (PT 門真サーフ)

- ・4 月 11 日に開催された協会春季大会について、PT の門真サーフより、事故もなく無事終了したとの報告があり、その後表彰を行った。
- ・反省点として、会場No.の未記入と必ず連絡がとれる方の携帯番号の記入をお願いしたいとの要請があった。

第 3 号議案 第 6 回大阪協会オープン大会について (沢田広報部長)

- ・本日、参加申込を受け付けている。一般参加は、5 月 9 日までに事務局まで申込してほしい。
- ・当日の役割分担について報告があったが、参加者全員で協力をしてほしい旨要請があった。

第 4 号議案 第 9 2 回全日本キス大会について (沢田広報部長)

- ・申込についての説明行った、締切は来月の理事会で受け付ける旨報告があった。

第 5 号議案 第 4 2 回クラブ対抗キス大会について (沢田広報部長)

- ・要項の配布説明と、今回も、大阪協会が PT でするので、ご協力をお願いします。参加締切は 6 月理事会で行う旨報告があった。

第 4 号議案 ライフジャケットの注文について（養老資材部長）

- ・本日、注文を受け付けているのでよろしくお願ひしたい。納品まで 2～3 ヶ月と聞いているので代金については、後日連絡をするとの依頼があった。

その他

- ・湯浅大物事務局長より、大物申請システムより、バッチ箱用のラベルの打ち出しが可能となった点についての報告があった。
- ・沢田広報部長より、協会ホームページ用に春季大会の写真を多く寄贈頂いたお礼があった。
- ・池田協会長より、大物トーナメントについて、今後企画していく中で、何人かを指名させて頂く旨要請があった。

19 時 50 分閉会